

平成 22 年度

「おおた未来プラン 10 年」に掲げる
主な事業の進捗状況報告書



mics おおた 開設レセプション

平成 23 年 9 月

大 田 区

はじめに

区は、平成 20 年 10 月に区政運営の最も基本となる考え方をまとめた基本構想を策定し、区の 20 年後の将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市おおた」を示しました。平成 21 年 3 月には、将来像を実現するための具体的な施策を体系的にまとめた「おおた未来プラン 10 年（以下、「未来プラン」という。）」を策定しました。

平成 22 年度は、未来プランがスタートしてから 2 年目です。平成 21 年度に引き続き、子育て支援、高齢者福祉、まちづくり、産業振興、多文化共生等、様々な分野において区の重要事業を着実に推進しています。

平成 22 年度は、羽田空港の国際化という大田区、引いては日本全体の活性化に向け起爆剤となる変化があった一方、東日本大震災の発生及びそれに伴う原子力発電所の事故という日本全体に暗い影を落とす変化もありました。

区は区民の皆さまの安全安心を第一に考え、急速に変化する環境に適切に対応しながら、今後も堅実な財政運営のもと区民サービスの向上を図ってまいります。

また、区財政が依然として厳しい状況下に置かれていることに鑑み、被災地支援、防災力強化等、緊急の課題に取り組みながら、未来プランの点検も併せて行ってまいります。

平成 23 年 9 月
大 田 区

平成 22 年度 進捗状況報告（概要）

本報告書は、平成 22 年度における未来プラン事業の進捗状況を取りまとめたものです。

1 部局別報告事業数

部局名	件数※
経営管理部	13
地域振興部	22
産業経済部	12
福祉部	15
保健所	8
こども家庭部	6
まちづくり推進部	7
都市基盤整備部	14
連続立体事業本部	3
環境清掃部	6
教育総務部	13
合計	119

※事務事業によっては、複数部局が連携して取り組んでいるため、主たる部局にのみ件数をカウントしています。

2 進捗状況結果の内訳

判定の基準	件数
5：事業の前倒しでの執行等、計画を上回る進捗があった。	11
4：事務事業を執行し、計画どおりの進捗があった。	255
3：執行に遅れ・変更があったが、次年度中に進捗の遅れを取り戻すことができる。	19
2：執行に遅れ・変更があり、次年度中に進捗の遅れを取り戻すことができないが、平成 25 年度までに進捗の遅れを取り戻すことができる。	4
1：執行に重大な遅れが生じ、または事業の大幅な変更の必要性が生じたため、進捗が無かった。	0
合計※	289

※複数の事業が集まって一つの未来プラン事業となっているものについては、事業ごとに進捗状況を判定しているため、未来プラン事業数（119 事業）と判定の合計件数とは一致しません。

平成 22 年度 進捗状況報告事業一覧

「子育て・教育・保健・福祉領域」

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

個別目標	施策名	未来プラン事業	所管部局	掲載ページ
1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくりま	妊婦健康診査の充実	保健所	7
		すこやか赤ちゃん訪問事業の推進	保健所 こども家庭部	8
		両親学級（一日制）の充実	保健所	9
	1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくりま	親の子育て力向上支援	こども家庭部	10
		子育て応援サイトの運営	こども家庭部	11
		家庭福祉員制度の充実	こども家庭部	12
		認証保育所支援	こども家庭部	13
		区立保育園の改築・改修の推進	こども家庭部	14
	1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます	基礎学力の定着	教育総務部	16
		小中一貫教育の推進	教育総務部	17
		ICT教育の推進	教育総務部	19
		不登校施策の充実	教育総務部	20
		日本語指導教室の充実	教育総務部	21
		学校施設の改築	教育総務部	22
1-1-4 のびのびと成長する子どもを見守ります	学校施設の緑化の推進	教育総務部	23	
	学校運営システムの構築	教育総務部	24	
1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくりま	1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくりま	健康づくりの推進	保健所	26
		食育の推進	保健所	28
		地域医療連携の推進	保健所	30
		食の安全確保	保健所	32
	1-2-2 ユニバーサルデザインのまちをめざします	健康危機管理体制の整備・充実	保健所	34
		ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進	福祉部	36
	1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくりま	誰にもわかりやすいサイン整備	経営管理部	38
		（仮称）障害者総合サポートセンターの設置	福祉部	39
		就労支援の充実	福祉部	41
	1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくりま	地域生活移行支援（グループホーム等）の充実	福祉部	43
		ふれあい広場事業の充実	福祉部	45
		生涯学習リーダーの育成	教育総務部	47
		生涯学習センターの整備	教育総務部	50
		スポーツ施設の整備（大田区総合体育館の整備）	教育総務部	51
1-2-5 安定した暮らしと人権を守ります	図書館の改築・改修	教育総務部	52	
	馬込文士村資料の活用	教育総務部	53	
1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくりま	1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくりま	女性の就労支援（再チャレンジ等）	経営管理部	54
		高齢者の就労促進・起業支援	福祉部	56
		元気高齢者の活動、交流の場の確保	福祉部	57
	1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます	介護予防の促進	福祉部	58
		地域の見守り体制の整備	福祉部	60
		家族介護者への支援	福祉部	62
		さわやかサポート（地域包括支援センター）の拡充と福祉ネットワークの強化	福祉部	64
		介護保険施設等の整備支援	福祉部	65
		高齢者総合相談体制の構築	福祉部	67
1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくりま	高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	福祉部	68	
	高齢者等の権利擁護の推進	福祉部	69	

「都市基盤・空港臨海部・産業領域」
 基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標	施策名	未来プラン事業	所管部局	掲載ページ	
2-1 水と緑を大切に し、すべての人に 安全で潤いのある 暮らしを実現しま す	2-1-1 魅力と個性あふれる都市 をつくりま す	蒲田駅周辺のまちづくり	まちづくり推進部	71	
		大森駅周辺のまちづくり	まちづくり推進部	73	
		身近な地域の魅力づくり	都市基盤整備部	75	
		京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のま ちづくり	連続立体事業本部	76	
	2-1-2 快適な交通ネットワ ークをつくりま す	京浜急行線連続立体交差事業の推進	連続立体事業本部	78	
		新空港線「蒲蒲線」の整備促進	まちづくり推進部	79	
		都市計画道路の整備	都市基盤整備部	80	
		コミュニティバスの導入検討、運行支援	都市基盤整備部	81	
		自転車駐車場の整備	都市基盤整備部	83	
		京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備	連続立体事業本部	85	
	2-1-3 潤いとやすらぎのあるま ちをつくりま す	公園の整備	都市基盤整備部	86	
		魅力ある公園のリニューアル	都市基盤整備部	88	
		呑川緑道の整備	都市基盤整備部	90	
	2-1-4 安全で安心して暮らせる まちをつくりま す	桜のブロムナードの整備	都市基盤整備部	91	
		鉄道駅舎のバリアフリー化の推進	まちづくり推進部	92	
		自転車等利用総合対策	都市基盤整備部	93	
だれでもトイレの整備		都市基盤整備部	94		
2-2 首都空港『羽田』 と臨海部が世界へ の扉を開く、国際 交流拠点都市を創 ります	2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつ くりま す	にぎわいのある文化交流拠点の整備	経営管理部	96	
		世界へ発信する産業支援拠点の整備	経営管理部	96	
		水と緑のふれあいゾーンの整備	経営管理部	96	
	2-2-2 未来につながる臨海地域 をつくりま す	海上公園の移管整備	都市基盤整備部	98	
		海辺の散策路整備	都市基盤整備部	99	
		空港臨海部将来構想の検討	まちづくり推進部	100	
	2-2-3 国際都市として交流を育 みます	交通ネットワークの検討	まちづくり推進部	101	
		再掲事業であるため省略	—		
	2-3 ものづくりから未 来へ、独自の産業 と都市文化を創造 します	2-3-1 ものづくり産業を育み、 世界に発信しま す	工場の立地・操業環境の整備	産業経済部	102
			新製品・新技術開発の支援	産業経済部	104
海外市場開拓支援			産業経済部	106	
次世代ものづくり人材の育成			産業経済部	107	
2-3-2 暮らしを支えるあきない を熱く盛り上げま す		商店街景観整備事業	産業経済部	109	
		ふれあい商店街事業	産業経済部	110	
		商店街イベント・機能向上の支援	産業経済部	111	
		おおた商い観光展の開催	産業経済部	112	
		サービス業実態調査とマッチング支援	産業経済部	113	
2-3-3 大田区の観光を世界に発 信しま す		にぎわいを生み出すスポットづくり	産業経済部	114	
		ものづくりのまち体験ツアーの実施	産業経済部	116	
	シティセールスの実施	産業経済部	117		

「地域力・環境・区政体制領域」

基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

個別目標	施策名	未来プラン事業	所管部局	掲載ページ	
3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1 地域力の土台づくりを進めます	(仮称) おおたコミュニティカレッジの開校	地域振興部	119	
		NPO・区民活動フォーラムの開催	地域振興部	120	
		区民活動・地域活動を支援する拠点の整備	地域振興部	121	
	3-1-2 地域力を活かした取り組みを進めます	協働推進講師派遣事業	地域振興部	123	
		地域力応援基金助成事業	地域振興部	124	
		地域活性化事業への支援	地域振興部	125	
		自治会・町会会館の整備助成	地域振興部	127	
		(仮称) 18色の地域力応援プログラムの策定・実施	地域振興部	128	
		わがまち大田推進協議会・地区推進委員会の充実	地域振興部	129	
		区民活動情報サイトの整備・活用	地域振興部	130	
	3-1-3 誰もが暮らしやすい地域をつくりま	協働プロジェクト事業の実施	地域振興部	131	
		(仮称) 多文化共生推進プランの策定・実施	地域振興部	132	
		(仮称) 多文化共生推進センターの整備	地域振興部	133	
	3-1-4 地域文化の創造とふれあいづくりを進めます	外国人のための日本語教室の充実	地域振興部	134	
		身近な暮らし情報の発信	地域振興部	135	
(仮称) 地域文化振興プランの策定・実施		地域振興部	136		
3-1-5 自分たちのまちは自分たちで守ります	防災情報基盤の整備	地域振興部	137		
	地域防犯活動の支援	地域振興部	139		
	災害時相互支援体制の整備	地域振興部	141		
3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1 地球に優しいまちをつくりま	地域防災活動の支援	地域振興部	143	
		環境基本条例の制定と環境基本計画の策定	環境清掃部	144	
		エコライフの普及	環境清掃部	145	
	3-2-2 水と緑を感じるまちをつくりま	大田区地球温暖化対策地域協議会の運営・行動指針の実践	環境清掃部	146	
		河川水質浄化対策の推進	都市基盤整備部 環境清掃部	148	
		(仮称) 大田区緑の10か年計画の策定(緑の基本計画改定)	まちづくり推進部	150	
	3-2-3 ごみのない循環のまちをつくりま	ごみ減量・3R推進のPR実施	環境清掃部	151	
		資源回収の充実	環境清掃部	152	
		清掃事務所などの整備	環境清掃部	154	
	3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1 行政力を最大限に発揮できる体制をつくりま	能力開発・能力活用型職員配置の推進	経営管理部	155
			大田行政経営プランの推進	経営管理部	157
			調査研究・企画機能の拡充	経営管理部	158
			行政情報基盤の整備	経営管理部	160
			大田区公共施設整備計画の推進	経営管理部	162
		3-3-2 透明性の高い区役所をつくりま	区民利用施設の改築	経営管理部 地域振興部	164
区民の新たな区政参画制度の導入			経営管理部	165	
3-3-3 地域力を支える区役所をつくりま		主要施策の成果及び達成度の公表	経営管理部	166	
		特別出張所機能の活性化	地域振興部	168	
特別出張所の改築	地域振興部	169			

「進捗状況報告シート」の読み方

例 示

① 計画事業名	妊婦健康診査の充実						
主な取組内容	妊婦健康診査にかかる費用について、年間14回の助成を行います。また、妊婦超音波検査の回数増や里帰り等妊婦健康診査費用の助成を行います。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
妊婦健診助成の実施		14回 受診促進					継続
妊婦超音波検査助成の実施		1回		拡充			拡充
里帰り等妊婦健康診査費用助成							継続

所管部局	②	
平成 22 年度の取り組み内容		進捗状況
【 】	③	⑥
決算額	④	
次年度以降の主な取り組み	⑤	

- ①未来プラン事業を、未来プランから転載しています。*印の説明は、既にホームページ等で公表している未来プランの「用語解説」をご覧ください。
- ②進捗状況を判定した部局名を表示しています。
- ③平成 22 年度の取り組み内容を表示しています。
【 】の中には、未来プランでスケジュールを示した項目を表示しています。
- ④平成 22 年度における事業経費の決算額（人件費を除く）を表示しています。
- ⑤平成 23 年度以降の主な取り組み内容を表示しています。
- ⑥未来プランで示したスケジュールに対する進捗状況を、5 段階で判定しています。
判定の基準は以下のとおりです。

進捗状況	判定の基準
5	事業の前倒しでの執行等、計画を上回る進捗があった。
4	事務事業を執行し、計画どおりの進捗があった。
3	執行に遅れ・変更があったが、次年度中に進捗の遅れを取り戻すことができる。
2	執行に遅れ・変更があり、次年度中に進捗の遅れを取り戻すことができないが、平成 25 年度までに進捗の遅れを取り戻すことができる。
1	執行に重大な遅れが生じ、または事業の大幅な変更の必要性が生じたため、進捗が無かった。

進捗状況報告シート

基本目標 1

生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

P.7～P.70

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

P.71～P.118

基本目標 3

地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

P.119～P.169